

平成29年度定時総会並びに理事会を開催

～平成30年度事業計画・予算案などを承認～

【総会の概要】

去る2月2日(金)、国際ホテル松山において加盟倶楽部から21名が出席し(委任状を含め全59倶楽部が参加)、四国ゴルフ連盟定時総会が開催されました。

会議では大亀会長から「精度の高い競技ゴルフを運営していくとともに、長期的にゴルフ人口が減少する中で、ジュニアの育成強化と女性ゴルファーへの支援に力を入れたい」とのあいさつがあり、議事案件を審議した結果、全ての議案が原案どおり可決承認されました。

～承認・議決事項～

- ◆平成29年度事業報告・収支決算
- ◆平成30年度事業計画・収支予算

【理事会の概要】

～主な承認・議決事項～

- ◆平成30年度日本ゴルフ協会理事候補者の推薦

大亀孝裕(継続)

- ◆平成30年度日本ゴルフ協会分科委員会委員候補者の推薦

総務委員会

委員 清水康文(留任)

税対策部会 鈴木健壽(留任)

規則委員会

委員 佐井重久(留任)

競技委員会

政策部会 山中健太郎(留任)

男子競技運営部会 佐井重久(留任)、後藤秀男(新任)

女子競技運営部会 坂本晴美、二宮 薫(以上留任)

ハンディキャップ委員会

政策部会 真鍋彦介(留任)

コースレーティング部会 坪井 優(留任)

競技者育成強化推進本部

普及部会 川西章子(留任)

発掘育成部会 森 茂幸(留任)



平成30年度ジュニアゴルファー 四国地区指定強化選手を選定

平成30年度の四国地区指定強化選手は、ジュニアの育成強化を図るために昨年度より増員することとし、アマチュアランキングなどを参考に四国の有望な中高生（男子14名、女子10名）が選定されました。

今後、指定強化選手に対して合同合宿や中国ゴルフ連盟との対抗戦、8地区強化指定選手チーム対抗戦、8地区強化指定選手合同体力強化合宿への派遣などを実施する予定としています。

また、4月3・4日に松山市野外活動センターにおいてJGA トレーナーを招いて第1回指定強化選手のトレーニング合宿を行うなど、ナショナルチーム入りを目指す選手の育成に取り組んでいくことにしています。

【男子強化選手】

| 名前 | 県名 | 学年 | 区分 |
|-------|----|----|----|
| 加藤 渉 | 香川 | 高3 | 継続 |
| 中川 聖太 | 徳島 | 高3 | 継続 |
| 野田倫太郎 | 香川 | 高2 | 継続 |
| 香川 凜央 | 愛媛 | 高2 | 継続 |
| 亀井 壮汰 | 香川 | 高2 | 継続 |
| 岡田 晃平 | 高知 | 高2 | 新規 |
| 杉原 光紀 | 香川 | 高1 | 継続 |
| 成松 翔 | 徳島 | 高1 | 新規 |
| 香川 大樹 | 愛媛 | 高1 | 新規 |
| 竹内 瑛信 | 愛媛 | 高1 | 新規 |
| 福住 将 | 高知 | 高1 | 新規 |
| 福住 修 | 高知 | 高1 | 新規 |
| 加藤 将 | 香川 | 中3 | 継続 |
| 田村 軍馬 | 愛媛 | 中2 | 継続 |

【女子強化選手】

| 名前 | 県名 | 学年 | 区分 |
|-----------|----|----|----|
| 手束 雅 | 徳島 | 高3 | 継続 |
| 木内 真衣 | 香川 | 高3 | 継続 |
| 大西 菜生 | 愛媛 | 高3 | 継続 |
| 石川 夢香 | 愛媛 | 高2 | 継続 |
| マニックス ジョイ | 愛媛 | 高2 | 継続 |
| 三瀬 舞凜 | 愛媛 | 高2 | 継続 |
| 三瀬 舞愛 | 愛媛 | 中3 | 継続 |
| 島勝ひなた | 徳島 | 中3 | 継続 |
| 中村 真菜 | 高知 | 中3 | 新規 |
| 城戸 姫菜 | 愛媛 | 中2 | 継続 |

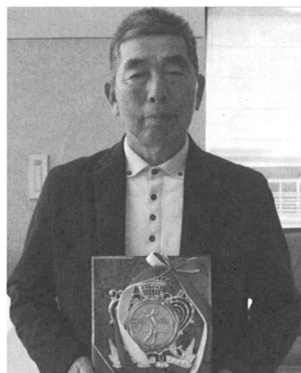
第72回四国グランドシニア会秋季競技

【エリエールゴルフクラブ 29.10.31】

四国ゴルフ連盟に加盟する倶楽部の会員（男性70歳以上、女性60歳以上）による第72回グランドシニア会秋季大会が、53名の会員が参加して平成29年10月31日に香川県エリエールゴルフクラブで開催されました。

秋季大会で行われる選手権の部では白鳥英二さん（鳴門C）が昨年に続いて連覇、アンダーハンディの部では尾鼻勝吉さん（こんびらLG）が優勝しました。

今回は、本年度のミッド・グランドシニア選手権競技の会場であるKochi黒潮カントリークラブで4月24日に開催されます。



白鳥英二選手



尾鼻勝吉選手

第72回四国グランドシニア会秋季競技

(Par72 男子：5,681yd 女子：5,129yd)

| 順位 | 氏名 | 所属 | NET | GRSS |
|----|-------|--------|-----|------|
| 優勝 | 尾鼻 勝吉 | こんびらLG | 63 | 83 |
| 2 | 篠原 實 | こんびらLG | 64 | 79 |
| 3 | 安藤 忠美 | こんびらLG | 64 | 98 |
| 4 | 武藤 秀治 | 志度C | 65 | 80 |
| 5 | 平沢 宏 | こんびらLG | 66 | 101 |

| 順位 | 氏名 | 所属 | NET | GRSS |
|----|-------|--------|-----|------|
| 6 | 藤田 一義 | エリエールG | 66 | 75 |
| 7 | 朝野 敏治 | 高知G | 67 | 82 |
| 8 | 白鳥 英二 | 鳴門C | 68 | 72 |
| 9 | 宮本 忠明 | 詫間C | 69 | 74 |
| 10 | 鍋田 孝明 | 志度C | 70 | 81 |

【選手権の部】

| 順位 | 氏名 | 所属 | GRSS |
|----|-------|--------|------|
| 優勝 | 白鳥 英二 | 鳴門C | 72 |
| 2 | 宮本 忠明 | 詫間C | 74 |
| 3 | 藤田 一義 | エリエールG | 75 |

【80歳以上ベスグロ】

| | | |
|------|--------|----|
| 篠原 實 | こんびらLG | 79 |
|------|--------|----|

ギヤフリー席

〈ゴルフ規則の創設〉

皆さんが楽しんでいるゴルフ規則を読みますと、決して楽しいものではありません。法律書と同じくらい難しいですね。ではどうしてゴルフ規則ができたのでしょうか。最初の頃は、規則はなく当人同士で話し合えばよかったのです。また、習慣的な不文律で行われたり、問題が起きると古いゴルファーが出て解決していたようです。その頃のゴルフと言えば全てホール・マッチで当人同士が話し合えばよかったのです。その頃は倶楽部も結成されず、ハウスもなく、酒屋や個人の家を使っていたようです。

その内、何人かの愛好者が集まって試合をしようと言い出し、そこで初めて倶楽部が出来ましたが、しかし、ハウスはまだなく、それでも倶楽部が出来ると、どうしても統一した規則が必要になり、そこで英国最初のゴルフ倶楽部であるオナラブル・カンパニー・オブ・エジンバラ・ゴルファーズがリースで結成され、最初の規則の成文が起草されていますが、これが不幸にも焼失しています。

次に作られたセント・アンドリュース・クラブの規則が今では最古の規則になっています。アーチクルス アンド ロウス イン プレイング ザ ゴルフという13ヶ条の規則はリースの規則を真似たものだとされています。さて、13ヶ条とはどんなものなのでしょうか。次に書いてみましょう。

- 1 プレイヤーはホールよりワン・クラブ以内にティーの位置を決めなければならない。(この頃はグリーン軽視の頃で、ホールアウトしますとホールの縁の土を取ってそれを盛り上げてティーにしていたので、ホールが段々と大きくなっていました。)
- 2 ティーは地上に求めなければならない。
- 3 プレイヤーはティーより打ったボールを取り替えてはならない。
- 4 プレイヤーはボールを打つために石、骨、その他クラブを壊すものを取り除いてはならない。但し、それらがフェアウェイ・グリーン上にあつて、かつ自己のボールより1クラブ以内にある場合はこの限りでない。
- 5 もし自己のボールが水またはどぶの中に入った時は、任意に拾い上げてそのハザードの後方に少なくとも6ヤード投げて、如何なるクラブで打ってもよい。しかし、ボールを拾い上げたことにより相手に1ストローク譲らなければならない。
- 6 もし、プレイヤーのボールが如何なる所でも互いに接触していたならば、後ろのボールを打つまで前のボールを拾い上げなければならない。
- 7 ホールに入れるときには、プレイヤーはホールに向かって真直ぐに打ち、自己のライン上にあらざる相手のボールを狙ってはならない。
- 8 もしプレイヤーがボールを取り上げられ、あるいはその他の原因で失ったならば、最後に打った場所に戻って別のボールをドロップして、相手に災難として1ストローク払わねばならない。
- 9 何人も自己のボールをホールに入れるときにはクラブ、その他如何なるものを持ってホールのラインに印をしてはならない。
- 10 もしボールが人、犬、馬あるいはその他のものによって止められたならば、止まった所から打たなければならない。
- 11 プレイヤーが打つ目的でクラブを後ろに引き、さらに打ち下ろす所まで打ち方を進めたとき、もしクラブが如何なる所で破損しても1ストロークと計算しなければならない。
- 12 ボールよりもっとも遠いプレイヤーが先にプレイしなければならない。
- 13 リンクスの保管のため造られた壕、溝、あるいは堀はハザードとみなされない。ボールは取り上げられ、如何なるアイアン・クラブでプレイすることもできる。

以上がゴルフ規則として最初に成文化されたもので、膨大な規則に比べると全く簡素なものです。しかし、この他にも永年不文律として伝えられた口伝のようなものがあつたはずで、日常に熟知されている共通の原則や慣例はここでは省力されていて、成文化されずにこのような簡素な13ヶ条が出来上がったものと思います。とにかくこの頃を中心をなす精神は、ボールは絶対に触ることなくあるがままに打つという精神で、今日のように色んな理由をつけて動かすことはなかったようです。それともう一つ、この頃の規則の特長は罰則が簡単に軽重がなく、全ての罰則はそのホールの負けになっていますが、それはその頃のゴルフが全てマッチ・ホールであった為でしょう。

このセント・アンドリュースの規則ができるまでパットのライン上にある如何なるルース・インペディメントも取り除くことができなかつたようです。そのため、今は誰も知らないスタイミーもその頃は「名誉ある不運な出来事」といったほどです。その頃のリンクスは草や灌木がコースの中央まではびこってきて、自然のまま石や動物の骨まであったようですが、これらのあらゆるものが自然の障害物として容認されて、ゴルファーはどんな不遇に遭遇しても敢然として自己の試練として受けとめていたようです。これがスコット人の精神であつたのだと思います。

このように考えていきますと、今日のゴルフは随分と優しくなっています。しかも、何とかしてボールを打ちやすい所に移動させるようなローカル・ルールまで作っています。ゴルフを昔の姿に戻せば、今のような煩雑な規則は少なくなり、簡単になり、理解しやすくなるのではないのでしょうか。一度、全ての救済処置を禁じてみるのも面白いですね。ただ、今日のゴルフはストローク・プレイですから、罰則だけはある程度考慮する必要はあるでしょう。(手島皓一)

わがコースの名物ホール その15

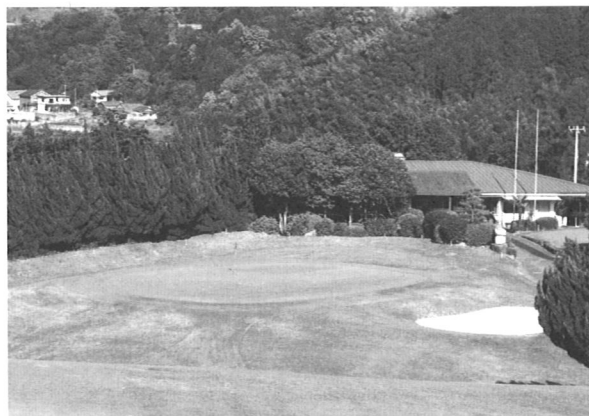
西条ゴルフ倶楽部

アウト 9番ホール

昭和48年9月に9ホールのコースでオープン。西条の市街、瀬戸内海を見下ろし、石鎚山を背景にプレイする山岳コース。コース全体に起伏があり、ホール内では下りになるところが多い。フェアウェイには細かなアンジュレーションがあり、ボールのライに影響を与える。アドレスでの微妙な狂いがミスショットにつながるので慎重に。

最終9番ホールは、フロントティから356Y。ティショットは谷越えで、130Yの谷でプレッシャーがかかる。セカンドショットは、残り約150Y地点から打ち下ろしとなり、番手を誤ると、クラブハウスまで飛んでくることも……。

フェアウェイからグリーンまでの落差が大きく、実際より短いので、クラブ選択が重要です。



わがコースの名物ホール その16

詫間カントリークラブ

3番ホール パー3 (BT181、RT155、LT122)

当クラブは、かつての塩田跡地で、1973年10月に故浅見緑蔵氏の設計によりゴルフ場として開場いたしました。2018年で45周年を迎えます。

コースには20を超える池があり、“詫間といえば池が多い”といわれ、一つの特徴となっております。

アウトコース、インコース共にフラットですが、アウトコースは距離があり、フェアウェイも広いので思い切ったショットが楽しめます。インコースは、トリッキーでほとんどのホールに池がかかわる戦略的なつくりとなります。

今回ご紹介する3番ホールは、打ち下ろしのショートホールです。完全な池越えではありませんが、グリーン右側の池が手前までせり出しているため、安全策で左側を狙っていくのですが、グリーンを外すと左からのアプローチは難度が増します。また、風の影響を受けやすいため、プレイヤーにとっては苦手だと感じている方も多いのでは……。このホールがアウトコースのスコアメイクのポイントとなっております。



〈事務局からのお知らせ〉

◆29年度の加盟倶楽部入場者数

平成29年度年間入場者数は、2,199,013人(対前年10,919人減)で長期的な減少傾向は続いています。今後、団塊の世代がリタイア期を迎えていけば、ゴルフ人口の急激な減少が危惧される中で、ゴルフ界の最大の課題はゴルフ人口の拡大です。このため、関係者が一丸となってゴルフの普及に取り組む必要があることなど、総務委員会、理事会において意見交換がなされました。

◆グランドシニア会春季大会のお知らせ

4月24日(火)にミッド・グランドシニア選手権競技がkochi黒潮カントリークラブで開催されます。参加資格は、四国ゴルフ連盟に加盟している倶楽部の会員で、男性70歳以上、女性60歳以上です。お仲間誘い合わせて是非ご参加ください。